

もくじ

特集 尾道市歴史的風致維持向上計画——
歴史ある景観とを、これからも—— 3

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ—— 6

新型コロナウイルス支援情報—— 7

くらしの窓—— 8

尾道市マリッジサポートセンターがスタート 他

健康・福祉—— 10

マダニが媒介する感染症に注意/メタボ脱出セミナー 他

子育て—— 13

10月から子ども医療費の対象年齢を18歳まで拡大 他

スポーツ—— 16

むかいしま女性サイクリング 2022 他

芸術・文化—— 17

音楽のまちづくりギャラリーコンサート/尾道市民囲碁大会 他

情報アラカルト—— 20

里山尾道ウォーク in みつぎ/認知症啓発パネル展 他

相談—— 26

人の動き [7月28日現在] ※()内は前月比。

64,244世帯 (-19)

人口 男性 63,315人 (-49)

女性 67,517人 (-59)

計 130,832人 (-108)

市内の交通事故
[7月28日現在]
令和4年広島県
交通安全年間スローガン
ゆるさない
ハンドル・スマホの二刀流

件数 132件 (+22)

負傷者 117人 (+26)

死者 1人 (-3)

※()内は前年比。

今月の納期限
8/31(水)

市県民税 ②

国民健康保険料 ②

介護保険料 ②

後期高齢者医療保険料 ②

今月の表紙

7月23日(土)、水尾町の水祭りが3年ぶりに開催されました。江戸後期に始まったとされる熊野神社の例祭で、水を吹く細工人形が涼やかな夏の風物詩になっています。

代表電話

尾道市役所 0848-38-9111 | 百島支所 0848-73-2701

因島総合支所 0845-22-1311 | 浦崎支所 0848-73-2001

御調支所 0848-76-2111 | 消防局 0848-55-9120

向島支所 0848-44-0110 | 尾道市立市民病院 0848-47-1155

瀬戸田支所 0845-27-2211 | 公立みつぎ総合病院 0848-76-1111

トピックス—Topics—

高校生×病院×鉄工会社 共同プロジェクト「イノベーション」がスタート

因島高校、因島医師会病院、因島鉄工株式会社の3者が共同し、日常生活動作に困っている人の生活の質を向上させるモノやサービスを発案・製作する新しいプロジェクトが開始しました。7月4日(月)、それぞれの代表が市役所を訪れ、市長へ意気込みを語りました。



このプロジェクトは、「福祉・介護・リハビリ」をテーマに、高校生が新しい視点で出したアイデアを、病院が専門的な視点から知識を提供し、因島鉄工が技術を駆使して製品の製作をするというものです。

プロジェクト内容は、インスタグラム (@innovation_innoshima) で随時発信しています。

安全・安心なまちづくりのために包括連携協定を締結



7月20日(水)、佐川急便株式会社と災害対策及び地域の安全に関する包括連携協定を締結しました。災害時における物資の輸送等の物流支援のほか、平常時においても配達業務時の高齢者・子どもの見守り等の協力を受けるものです。これにより、防災体制の強化を図り、安全・安心なまちづくりを進めます。

市長表敬訪問/敬称略

令和4年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会

令和4年度全日本高等学校ソフトテニス選手権大会
(8月1~4日=愛媛県)
尾道学園ソフトテニス部



第22回全日本少年少女空手道選手権大会

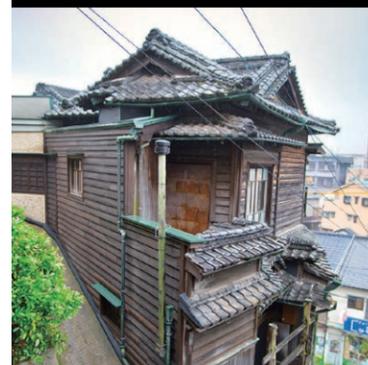
(8月10・11日=東京都)
青垣 希奈 (土堂小6年)
島谷 朋弥 (山波小4年)
島谷 美里 (山波小1年)



第23回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会

(8月12~14日=熊本県)
鵜久森 朔太郎 (土堂小2年)

■ 広報おのみち8月号に掲載の行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、縮小・中止の可能性があります。事前に主催者にお問い合わせの上、ご参加ください。



歴史ある景観と 思いを、これからも

今回の特集では、平成24年度から行ってきた「尾道市歴史的風致維持向上計画」10年間の取り組みの歩みや、地域に住む人の街への思いなどを紹介します。

文化振興課 (0848-207425)
まちづくり推進課 (0848-389223)

景観と歴史・文化を活かしたまちづくり

尾道市には、中世から近世にかけての寺社をはじめとした建造物が数多く残り、歴史的建造物や町並みを舞台に、地域ごとに祭礼・行事が営まれています。これらの歴史的建造物と祭礼・行事に加え、坂のまちや瀬戸内海の多島美といった地域の環境と景観が一体となり、尾道市固有の「歴史的風致」を形成しています。

この「歴史的風致」を守り続けるため、市では文化財を生かしつつ、文化財と都市計画、景観とまちづくりの相互が連携した取り組みを進めています。

特に、国宝・浄土寺と尾道駅周辺の斜面地と市街地を中心とする「尾道・向島歴史的風致地区」と、国宝・向上寺三重塔と瀬戸田港周辺の市街地を中心とする「瀬戸田歴史的風致地区」の2地区を重点区域に設定し、積極的なまちづくりを進めています。

「歴史的風致維持向上計画」は、平成24年に国の認定を受け、第1期計画がスタートしました。令和4年度からは、第2期計画に基づき、取り組みを継続していきます。

